

都市再生整備計画

しろいほくぶ
白井北部地区

ちば 千葉県 しろい 白井市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	白井市	地区名	白井北部地区	面積	985 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

目標

- 人々が集い、安全で安心して暮らせるまちづくり
 - 目標1 コミュニティの形成
 - 目標2 安全・安心の確保

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

〔まちづくりの経緯〕

白井市は、千葉県北部に位置し、昭和40年代以降の千葉ニュータウン事業を契機に、計画的なまちづくりにより都市化が急速に進み、平成9年には人口5万人が生活する都市へと発展した。また、都心から30キロメートル圏内にありながら、豊かな水と緑の自然環境を有しており、それらの自然環境に囲まれて、千葉ニュータウンを中心とした、ゆとりある居住環境を形成している。
市街地構成は、旧市街地である白井地区、富士地区と計画開発市街地である千葉ニュータウン地区(新住宅市街地開発事業)、西白井地区(土地区画整理事業)により構成されており、各地区には地域住民のふれあい・交流の場、活動の場、子どもの遊び場としての複合的なコミュニティ施設が整備されている。

〔現況〕

○一方、整備地区内には、現在、暫定的に使用している中央公民館本館及び別館は、老朽化が進んでおり、補強工事等が必要な状況である。また、自治組織同士の連携が弱く、広域的な地域課題に対応するための体制が整備されておらず、そしてその活動拠点が無い。

平成16年実施の住民意識調査によると、地域住民からの声として高かったのは、「趣味や特技を伸ばす活動」「地域の人と知り合い友達になる活動」「仕事等でこれまで培った経験や技能を生かした活動」である。

平成17年1月に市民参加によるコミュニティ施設建設準備委員会を組織し、施設内容・規模・建設用地についていろいろな視点から調査審議を重ね、平成19年11月に「コミュニティ施設建設整備にかかる提案」が提出され、市は、基本的な整備方針を決定した。

整備方針

- 1.住民が主体的・自発的に活動を行うための拠点として整備、また、地域課題に対し積極的に取り組むための拠点として整備
 - 2.地域住民はもとより、多くの市民が利用できる施設で、子どもから高齢者及び障害者など誰もが自由に利用できる施設として整備
 - 3.陶芸・茶道・食文化などを継承する施設として整備
 - 4.展示などが出来る施設機能を整備
 - 5.災害時など避難所としての役割を担う施設として整備
 - 6.誰もが利用しやすい管理運営方法の導入
- 道路交通の安全を確保するため、破損の著しい舗装、排水施設などの修繕を実施してきたが、整備地区内の工業団地及び周辺道路は、クラックが無数に入っている箇所が多数見受けられる。
○災害時に対応するための、非常用食料・機材等を備蓄する、「防災備蓄庫」が整備されていない。
○住居侵入・ひったくり・性犯罪などの犯罪被害抑制や、避難所になっている小・中学校(2校)、コミュニティ施設(2施設)へ通じる経路が暗いところが多数あるため、防犯灯を計画的に増設している。
○安心して遊べる白井児童館の改築が望まれている。

課題

- 課題1:地域コミュニティ活動の活性化を構築するための拠点整備。
課題2:地域間交通及び避難所になっている小・中学校(2校)及びコミュニティ施設(2施設)へ通じる道路の適正管理及び防犯灯設置により通行の円滑化・安全性の確保。
課題3:災害時の避難場所となるコミュニティ施設内に、防災資機材や避難生活用品、食料等を備蓄する防災備蓄庫を整備する必要がある。
課題4:子どもが安心して遊べる場を充実させるため、出入り口のバリアフリー化、事務所入口側移動や給湯室設置等児童館を改築する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

白井市では、上位計画の白井市総合計画で「市民と築く安心で健康なまち しろい」というまちづくりへの将来像掲げ、「市民が安心でやすらぐまち」「市民が健康で元気に活躍できるまち」「みどり豊かで市民がうるおう美しいまち」の3つの柱をまちづくりの基本理念とし、その中で、公共施設の整備や道路整備等を行い、人々が集い、安全で安心して暮らせるまちづくりの環境整備を図る方針とします。

目標を定量化する指標

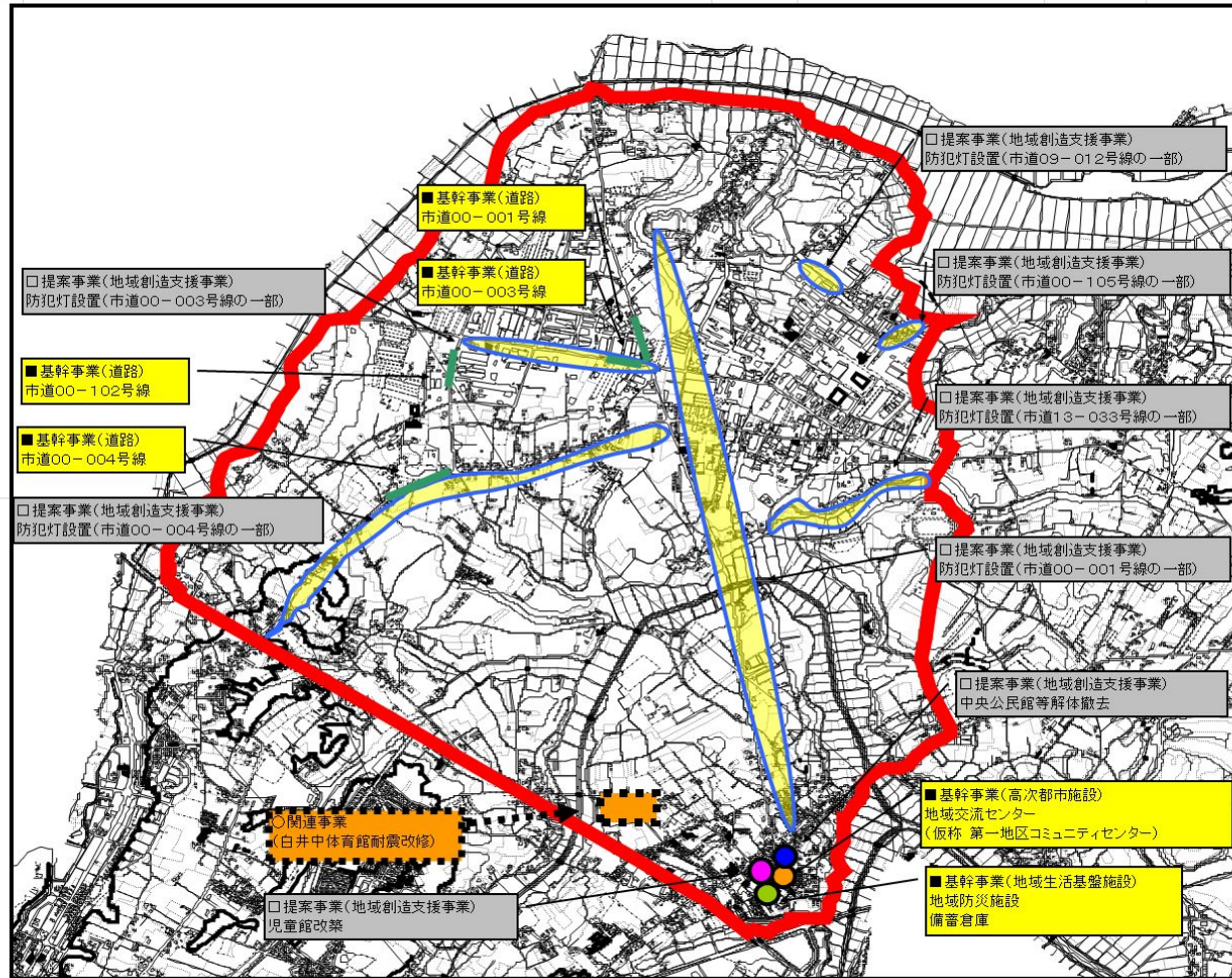
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
公共施設に対する市民満足度	%	「便利な公共施設が整備されていると感じる」市民の割合(アンケート調査から)	コミュニティーセンターを整備することにより、利用者の利便性の向上と地域交流が促進され、公共施設に対する満足度の向上を図る。	8.7%	H19	15% H26
施設の利用促進を図るための講座数	講座	趣味や生きがい、子育てなどを学ぶ実践講座数	趣味や生きがいなどの拠点となるコミュニティーセンターを整備することにより、市民ニーズに応じた新たな講座を実施する。	26講座	H20	31講座 H26
利用登録(社会教育認定団体)団体数	団体	公共施設を定期的に利用する登録団体数	新たな活動の場となるコミュニティーセンターを整備することにより、利用登録団体数の増加を図る。	119団体	H20	130団体 H26
舗装修繕要望件数	件	舗装の修繕要望件数	区域内の舗装修繕の要望箇所を整備することにより、安全で安心して利用できる交通環境の向上が図られる。	65件	H20	55件 H26

都市再生整備計画の整備方針等

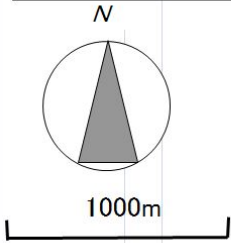
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>方針1: 市民・市民活動団体・事業者等が積極的にまちづくりに参加し、市民主体のまちづくりを展開する場の提供とともに、生きがいや、市民同士の交流機能の強化を図ります。</p> <p>・ 市内にあるコミュニティ施設6施設の内、中央公民館廃館に伴い新たなコミュニティ施設を整備します。</p>	<p>《基幹事業》 地域交流センター整備事業((仮称)第一地区コミュニティセンター) 《提案事業》 市民活動推進事業(ソフト事業)</p>
<p>方針2: 子どもから高齢者が安心して暮らせる環境づくりを目指します。</p> <p>・ 地域間交通及び避難所になっている小・中学校(2校)及びコミュニティ施設(2施設)へ通じる道路の適正管理及び防犯灯設置により通行の円滑化・安全性の確保を図ります。</p> <p>・ 災害時の避難場所となる((仮称)第一地区コミュニティセンター)に、防災資機材や避難生活用品、食料等を備蓄する防災備蓄庫を整備します。</p> <p>・ 子どもが安心して遊べる場を充実させるため、白井児童館を改築します。</p> <p>・ 避難所になっている中学校の安全確保のため、学校施設の改修事業を実施します。(耐震補強)</p> <p>・ 災害に強いまちづくりを推進するため、旧耐震基準の建築物に係る耐震診断の実施に対して助成を行います。</p>	<p>《基幹事業》 道路改良事業 地域防災施設(防災備蓄庫) 《提案事業》 防犯灯設置事業 地域創造支援事業として白井児童館改築 地域創造支援事業として中央公民館等解体撤去</p> <p>《関連事業》 ☆ 白井中体育館耐震改修(安全安心な学校づくり交付金事業を活用) ☆ 耐震改修事業補助金(国・県補助事業を活用)</p>
<p>・</p>	
<p>その他</p>	
<p>【広報活動】 広報紙及び市ホームページ、各種イベントの開催等により、施設利用に向けて、市民周知を図る。</p> <p>【計画の監理】 「庁内まちづくり交付金の活用に係る検討会」で、定期的に事業進捗状況の確認や、事業遂行上の問題点を議論する。</p> <p>【市民参画】 整備する施設について、市民参画によるまちづくりに努める。</p>	

白井北部地区(千葉県白井市) 整備方針概要図

目標	人々が集い、安全で安心して暮らせるまちづくり	代表的な指標	公共施設に対する市民満足度 (％)	8.70% (H19年度)	→	15% (H26年度)
			利用登録(社会教育認定団体)団体数 (団体)	119団体 (H20年度)	→	130団体 (H26年度)
			舗装修繕要望件数 (件)	65件 (H20年度)	→	55件 (H26年度)



- 凡例
- 都市再生整備計画区域
 - 基幹事業(高次都市施設)
 - 基幹事業(地域生活基盤施設)
 - 基幹事業(道路)
 - 提案事業(防犯灯設置:地域創造支援事業)
 - 提案事業(児童館改築:地域創造支援事業)
 - 提案事業(中央公民館等解体:地域創造支援事業)
 - 関連事業(白井中体育館耐震改修)



都市再生整備計画の区域

白井北部地区(千葉県白井市)	面積	985 ha	区域	神々廻地区の一部、白井地区、木地区の一部、折立地区、富塚地区の一部、中地区、名内地区、今井地区、河原子地区、平塚地区の一部
----------------	----	--------	----	---

